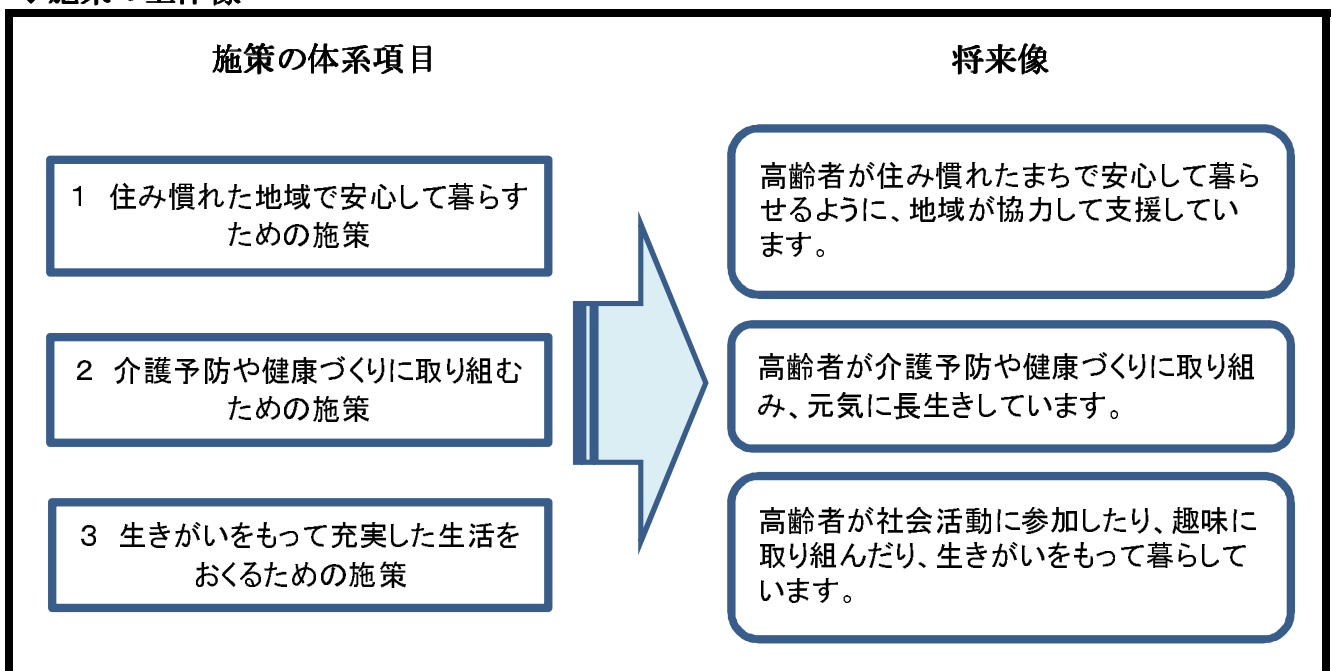


施策評価シート (平成29年度評価実施)	担当 部課名	市民福祉部 長寿課	関連 部課名	市民福祉部 福祉課
-------------------------	-----------	--------------	-----------	--------------

◆第四次蒲郡市総合計画(2011～2020)

施策名	高齢者支援
基本目標	笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】
施策の説明	高齢者が住み慣れたまちで安心して元気に暮らせるように、在宅福祉サービスの充実や、家族介護の支援、地域福祉活動の充実、介護予防や健康づくり、就労支援や生きがいづくり支援、社会活動参加支援などの取組を推進します。

◆施策の全体像



◆主要事業に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

事業名		高齢者のいきいの場充実事業																															
1	高齢者のいきいの場(グループ)	集会所等の活用(箇所)																															
	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>人数</th><td>88</td><td>94</td><td>106</td><td>113</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	人数	88	94	106	113	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>箇所数</th><td>32</td><td>32</td><td>40</td><td>43</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	箇所数	32	32	40	43											
	年度	H26	H27	H28	H29年度目標																												
人数	88	94	106	113																													
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																													
箇所数	32	32	40	43																													
担当者評価																																	
<p>高齢者が住み慣れたまちで安心して元気に暮らせるように、地域が協力して支援する姿として、今年度より高齢者のいきいの場の充実を取り組み指標とした。高齢者が歩いていける場所で運動をしたり、おしゃべりや交流活動ができると、地域の人々の関係性が深まり、見守りや支え合いの活動につながりやすくなる。長寿課、地域包括支援センターが立ち上げ支援や活動支援に関わっている。市内に96箇所ある地区集会所のうち活用が積極的にされていない集会所を活用して、高齢者のいきいの場を充実していきたい。</p>																																	
事業名		介護予防事業の活用																															
2	介護予防教室の参加(延人数)	自主的な継続参加意欲あり(%)	要介護認定率(10月1日)(%)																														
	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>延人数</th><td>4,535</td><td>5,552</td><td>5,562</td><td>4,800</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	延人数	4,535	5,552	5,562	4,800	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>割合(%)</th><td>44.7</td><td>59.9</td><td>79.5</td><td>90</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	割合(%)	44.7	59.9	79.5	90	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>認定率(%)</th><td>14.9</td><td>14.8</td><td>14.8</td><td>14.8</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	認定率(%)	14.9	14.8	14.8	14.8
	年度	H26	H27	H28	H29年度目標																												
延人数	4,535	5,552	5,562	4,800																													
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																													
割合(%)	44.7	59.9	79.5	90																													
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																													
認定率(%)	14.9	14.8	14.8	14.8																													
担当者評価																																	
<p>介護予防教室の参加をきっかけに、継続的に運動や交流活動を続ける人を増やしていくことが元気高齢者を増やすためには大切である。H28年度介護予防教室の参加延人数は、ゆるやかな増加となっている。介護保険制度の改正により、従来の二次予防事業対象者は、総合事業に移行していくことから、平成29年度は介護予防教室の参加人数は減少する見込みとなっている。自主的な継続参加意欲は、昨年度より上昇しているが、今年度は更に活動を継続できる人が増えるよう意欲の向上を促していく。</p>																																	

事業名		シルバー人材センター事業																																	
年平均登録会員数(人)		受託件数(件)		ワンコイン受託件数(コイン)																															
3	<table border="1"> <caption>年平均登録会員数(人)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>登録会員数(人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>515</td></tr> <tr><td>H27</td><td>549</td></tr> <tr><td>H28</td><td>580</td></tr> <tr><td>H29年度目標</td><td>585</td></tr> </tbody> </table>		年度	登録会員数(人)	H26	515	H27	549	H28	580	H29年度目標	585	<table border="1"> <caption>受託件数(件)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>受託件数(件)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>4,931</td></tr> <tr><td>H27</td><td>5,230</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5,629</td></tr> <tr><td>H29年度目標</td><td>5,700</td></tr> </tbody> </table>		年度	受託件数(件)	H26	4,931	H27	5,230	H28	5,629	H29年度目標	5,700	<table border="1"> <caption>ワンコイン受託件数(コイン)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>ワンコイン受託件数(コイン)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>196</td></tr> <tr><td>H29年度目標</td><td>260</td></tr> </tbody> </table>	年度	ワンコイン受託件数(コイン)	H26	0	H27	0	H28	196	H29年度目標	260
	年度	登録会員数(人)																																	
	H26	515																																	
H27	549																																		
H28	580																																		
H29年度目標	585																																		
年度	受託件数(件)																																		
H26	4,931																																		
H27	5,230																																		
H28	5,629																																		
H29年度目標	5,700																																		
年度	ワンコイン受託件数(コイン)																																		
H26	0																																		
H27	0																																		
H28	196																																		
H29年度目標	260																																		
担当者評価																																			
<p>ここ数年、会員数の伸びは横ばいであったが、新規会員獲得のための説明会開催など、シルバー人材センター職員の積極的な働きかけにより、会員登録数が増加している。会員の入会動機をみると、健康維持や生きがい、仲間づくりを目的としている人が約4割を占めており、生涯現役と社会参加を求めて入会する人が多い。受託件数は年々増加しており、シルバー人材センターの事業が市民に浸透していることがうかがえる。また、平成28年度7月から始まった「ワンコインお助けサービス事業」は、高齢者のみ世帯を対象にちょっとした困り事についてシルバー会員が1作業30分＝1コイン(500円)で支援するもので、こちらも順調に受託件数を伸ばしている。</p>																																			

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)

指標の推移		指標の説明(設定理由)															
1	<p>健康寿命(歳(男性● 女性■))</p> <table border="1"> <caption>健康寿命(歳)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>男性(歳)</th> <th>女性(歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26(H24)</td> <td>78.57</td> <td>83.32</td> </tr> <tr> <td>H27(H25)</td> <td>78.74</td> <td>83.57</td> </tr> <tr> <td>H28(H26)</td> <td>79.15</td> <td>84.04</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>80</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	年度	男性(歳)	女性(歳)	H26(H24)	78.57	83.32	H27(H25)	78.74	83.57	H28(H26)	79.15	84.04	H32年度目標	80	85	<p>健康寿命とは、「健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されており、健康寿命の算定方法として、蒲郡市では、「日常生活動作が自立している期間の平均」について厚生労働科学研究班による「健康寿命の算出プログラム」を用いて算出している。各年男女別年齢階級別人口、死亡数、要介護2～5の人数を用いて算出した結果である。年齢階級別死亡数の確定値は27年が最新であり、人口規模が13万人未満の当市では、対象年次とその前後をあわせた3年間の死亡数を入れる必要があるため、健康寿命は2年前の数値となる。平均余命から健康寿命を差し引いた「介護が必要となる期間」は、平成24年男性1.23年、女性2.54年、平成25年男性1.21年、女性2.53年、平成26年男性1.14年、女性2.46年と年々短くなっている。</p>
	年度	男性(歳)	女性(歳)														
H26(H24)	78.57	83.32															
H27(H25)	78.74	83.57															
H28(H26)	79.15	84.04															
H32年度目標	80	85															
指標の分析	<p>平成24年以降の健康寿命は、男女共に伸びており、元気に長生きしているといえる。また、「介護が必要となる期間」も男女共に年々短くなっている。今後も身近な場所で体操する機会を増やす等、高齢者が介護予防に積極的に取り組める地域づくりをしていくことが重要である。</p>																
2	<p>一人あたりの就業日数(日)</p> <table border="1"> <caption>一人あたりの就業日数(日)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>就業日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>134</td> </tr> </tbody> </table>	年度	就業日数(日)	H26	124	H27	125	H28	129	H32年度目標	134	<p>就業により社会参加の機会が増え、また体を動かすことが健康維持にもつながり、生き生きと生活できるようになる。 就業延日数÷就業延人数＝一人あたりの就業日数 (請負と派遣を合わせた数) H26:64,105日÷517人≒124.0日 H27:69,345日÷553人≒125.4日 H28:70,537日÷548人≒128.7日 H32目標:76,350日÷570人≒133.9日</p>					
	年度	就業日数(日)															
H26	124																
H27	125																
H28	129																
H32年度目標	134																
指標の分析	<p>会員一人あたりの就業日数は徐々に増えており、就業の機会は確保されている。働く意欲のある高齢者が自分の能力を生かして、できる範囲の仕事をする事は、健康増進、生きがいをもった生活につながる。</p>																

◆市民等からの参考意見等

市民サービス向上に向けた意見等
<p>高齢者サロンを立ち上げたいが、どのようにしたら立ち上げできるか参考にできるものがほしい。</p>

◆今後の方針

No.	課題		今後の取組み
	件名	内容	
1	高齢者の孤立、閉じこもり	高齢者の一人暮らし世帯、高齢者世帯の増加が目立つ地域があり、地区集会所等でどのように高齢者サロンを立ち上げたらよいか知りたいという住民の声があった	サロンの立ち上げに必要な情報や運営に役立つ情報をまとめた冊子を作成することで、今後多くの地域で高齢者サロンの立ち上げを促進する。高齢者ボランティア活動促進事業の中で、介護予防サポーター、食生活改善推進員、サロン活動ボランティア等の意見を聞きながら、必要な情報をまとめた「サロン立ち上げたい設立・運営マニュアル(仮)」を作成する
2	健康寿命の延伸	住民が自ら自分の健康や体力に関心を持ち、介護予防や健康づくりに積極的かつ継続的に取り組もうとする人が増えるような働きかけを行う	参加者が自分の体力に気づき、今後健康づくりを継続しようと思えるような介護予防教室を実施し、教室終了後も継続的な活動に取り組もうとする人が増えるよう働きかける 地域の健康づくりや介護予防の運動グループの情報提供を行い、地域での自主的な介護予防の取り組みを促していく
3	会員数及び受託件数の増加	働く意欲のある高齢者が自分の能力を生かして、できる範囲の仕事をする事は、健康増進、生きがいをもった生活につながり、ひいては自身の介護予防につながる。	請負及び派遣事業の受託増加に加え、ワンコインお助けサービス事業など新しい事業の受託件数も順調に伸びていることから、今後も就業開拓や事業の周知などを積極的に進めることで、就業機会の増加に努める。また入会説明会も積極的に実施し、会員数を増やしていく。
4			

◆施策評価

構成事業の進捗状況	A:目標達成に向けて計画どおり進行している。
施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
課長評価	<p>①「高齢者が住みなれたまちで安心して暮らせるように、地域が協力して支援しています。」については、高齢者いこいの場グループ数、集会場等の活動箇所数が増加し、さらに「いこいの場マップ」による情報の透明化により、活性化しつつある。今後は、参加者・活動ボランティア団体などのニーズをさらに把握し、充実を図る必要がある。</p> <p>公助については、地域包括システムを構築し、在宅医療・介護・多職種連携を進める必要がある。</p> <p>②「高齢者が介護予防や健康づくりに取り組み、元気に長生きしています。」については、介護予防教室の参加者数の増加、自主的な継続参加意欲が向上し、一定の評価はできる。今後は、介護予防の中でも認知症予防事業に力を入れ、市民に対し、認知症の理解度を高めていく必要がある。</p> <p>③「高齢者が社会活動に参加したり、趣味に取り組んだり、生きがいをもって暮らしています。」については、シルバー人材センター事業の会員数の増加、受託件数の増加していることについて、一定の評価はできる。今後は、さらにワンコイン事業を充実させ、元気な高齢者が支援が必要な高齢者を支える仕組の充実を図る必要がある。</p>

施策の進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	<p>介護保険および地域包括支援の事業を推進してきたことにより、高齢者に対する施策は充実しつつある。今後は「自助」および「互助」の部分に力を入れながら、高齢化対策を進めていく必要がある。</p>

事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(参考) (千円)	人工	評価 (担当者)	事業の 種別	新規 事業	達成 状況	市長マ ニフェスト	実施 計画
1-4	福祉課	137	地域福祉サービスセンター事業	11,048	570	0.06	A	オ	オ	B	3	○
1-4	福祉課	139	ボランティアセンター運営補助事業	1,400	760	0.08	B	オ	オ	B	—	○
1-4	福祉課	140	在宅福祉サービス事業	2,186	760	0.08	B	オ	オ	B	3	○
1-4	福祉課	141	社会福祉協議会運営事業	16,075	2,376	0.25	B	オ	オ	B	—	○
1-4	長寿課	175	老人ホーム措置事業	2,916	2,289	0.35	A	ア	オ	A	3	○
1-4	長寿課	176	老人福祉センター管理運営事業	50,918	2,216	0.25	A	カ	オ	A	3	○
1-4	長寿課	177	生きがい活動支援事業	14,436	2,764	0.40	B	オ	オ	B	3	○
1-4	長寿課	178	高齢者生活支援事業	9,245	2,784	0.50	B	カ	オ	B	3	○
1-4	長寿課	179	介護施設等整備事業費補助事業	13,662	950	0.10	B	オ	オ	B	3	○
1-4	長寿課	180	ワンコインお助けサービス事業	1,981	1,687	0.20	A	カ	オ	B	3	×
1-4	長寿課	181	蒲郡市デイサービスセンター管理事業	4,537	844	0.10	C	カ	オ	C	3	×
1-4	長寿課	183	生きがいセンター管理運営事業	17,189	1,794	0.20	A	カ	オ	A	3	○
1-4	長寿課	184	高齢者健康と生きがいづくり推進事業	66	368	0.05	B	カ	オ	B	3	×
1-4	長寿課	185	養護老人ホーム管理運営業務	77,097	4,116	0.45	C	ア	オ	C	3	×
1-4	長寿課	186	地域支援事業	118,848	30,206	4.95	B	ア	オ	B	3	○
1-4	長寿課	191	介護支援ボランティア事業	1,787	735	0.10	B	カ	オ	B	3	×